

食品安全関係情報(2月7日～2月21日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

2月7日～2月21日 収集件数 (合計92/102件) (前回 1月25日～2月6日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (13/14件)	米国 (5/8件)	カナダ (1/1件)	EU、EFSA (35/19件)	各国 (11/21件)	FSANZ等 (2/2件)	中国 (10/7件)	各国 (3/3件)	各国 (0/1件)	報道、論文等も含む (12/26件)
化学物質 (27/34件)	化学物質・汚染物質 (2件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	食品添加物 (4)	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0
	農薬 (14)	0	4	0	10	0	0	0	0	0	0
	動物用医薬品 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (4)	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0
	その他 (2)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
微生物・プリオン・自然毒 (34/38件)	細菌 (5件)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2
	ウイルス (14)	9	0	0	0	1	0	2	1	0	1
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (5)	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1
	植物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	動物性自然毒 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	その他 (7)	2	0	0	1	2	0	2	0	0	0
新食品等 (5/7件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	健康食品 (3)	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肥料・飼料等 (10/6件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (10)	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (16/16件)	表示 (2件)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	放射性物質 (1)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	その他 (13)	1	1	1	2	1	1	2	1	0	3
海外の食中毒 (0/1件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール (0/0件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(2月7日～2月21日収集分 92件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、食品源由来ホルムアルデヒドの外因性寄与と比較した内因性ホルムアルデヒドの総生成量について科学的報告を公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、香料グループ評価 210 改訂 1 (FGE. 210Rev1) : 香料グループ評価 19 (FGE. 19) の化学サブグループ 2.4 の α 、 β -不飽和脂環式ケトン類及び前駆体類の遺伝毒性の可能性の考察に関する科学的意見書を公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、香料グループ評価 212 改訂 2 (FGE. 212Rev2) : 香料グループ評価 19 (FGE. 19) の化学サブグループ 2.6 の α 、 β -不飽和脂環式ケトン類及び前駆体類の遺伝毒性の可能性の考察に関する科学的意見書を公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ フランス衛生監視研究所(InVS)、2010～2012年のフランスにおけるヒトのボツリヌス症に関する疫学報告を発表
- ・ 国際連合食糧農業機関(FAO)、インフルエンザ A(H7N9) のヒトから動物への感染の可能性は無視できる旨を公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)及び欧州疾病予防管理センター(ECDC)、2012年人獣共通感染症、人獣共通感染症病原体、集団食中毒の傾向及び原因に関する欧州連合(EU)概要報告書を公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、牛の腸及び腸間膜における BSE リスクに関する科学的意見書を公表
- ・ ドイツ連邦食糧農業省(BMEL)、ドイツで牛海綿状脳症(BSE)患畜を確認(2014年:2頭目)
- ・ 英国食品基準庁(FSA)、スコットランドにおける貝類のモニタリング結果を公表

【新食品等】

- ・ フランス農業・水産省、フランス政府は遺伝子組換え作物のモラトリアムを維持していくと発表

【その他】

- ・ 国際連合食糧農業機関(FAO)、Codex 委員会(Codex)がスパイス・ハーブ業界の活性化のための新たな品質基準の設定を検討する旨を公表
- ・ カナダ食品検査庁(CFIA)、食品由来の疾病予防のための食品業界向けのオンラインツールを開発